



編集兼発行所
須坂市公民館
塩川町分館
発行責任者
岡田茂樹
印刷所
佐藤印刷(株)

町勢
世帯数 1,100戸
人口男 1,358名
女 1,398名
計 2,756名
8月1日現在

運営委員会研修会

主事 加藤 政宏

去る六月三十日(日)、恒例の運営委員会研修会を開催しました。この日、明け方より激しく雨が降り続いていましたが、参加者四十名を乗せたバスは、飯山市にある高橋まゆみ人形館を目指し出発しました。到着するころには、嘘のように雨も上がり、むしろ暑くもなく、まずまずのお天気となりました。バスの駐車場となった飯山城址公園の紫陽花が鮮やかでした。

運営委員会一行は、人形館入口で二班に分かれ、スタッフの方より作品のエピソードを交えて案内していただきました。



平成十年、ユザワヤ創作大賞展にて部門大賞を受賞。それがきっかけで、何回か東京で個展を開いているうちに、あるプロデューサーの目に留まり、作品展が全国各地を回るようになりました。(七年に渡り、全国九五ヶ所で一八〇万人を動員) 平成二十二年には、飯山市によって、人形館が設立されるまでに至り、来年はオープン十周年に当たります。

作品一つひとつに、ドラマがあり、非常に感慨深いものでした。「ふるさと」、「ぬくもり」、家族や地域の「絆」を強く感じさせてくれる、そんな作品の数々でした。

人形館を鑑賞後は、斑尾高原ホテルにて昼食を取りました。運営委員の皆様と分館役員との一層の懇親を深めることができ、今後の分館行事を進める上で、より一致団結した取り組みができるものと思った次第です。



高橋まゆみさんは、長野市から飯山市に嫁ぎ、子育てに追われながらパート勤めをしていた三十代の初めのころ、たまたま立ち寄った手芸店で人形制作に興味を持ち、通信教育を始めて、仕事と家事の合間に人形創りに没頭しました。最初は、ピエロや魔女といった架空のキャラクターが中心でしたが、ある時、一体のおばあちゃんの人形を創りました。その時は、子育てやいろいろなストレスが重なっていた頃で、自分が創った人形に癒され、助けられたとのこと。そこから、地域のお年寄りの姿に創りたいテーマが見えて来たとのこと。日常の中で「いいな」と思う光景を捉え、残して行きたい。



健康講座

お酒との上手な付き合い方とデメリットと

保健指導員 田尻典子

去る五月十一日、保健師の田村優衣さんを講師にお迎えし、分館との共催による健康講座を開催いたしました。

最初に「ドレミDE体操」を行い脳と体の活性化！

続いて田村さんの「皆さんお酒は好きですか？」の問いかけに会場から笑みがこぼれる中、講座が進められて行きました。

お酒には、血行促進、ストレス緩和、食欲増進等のメリットがある反面、脳の萎縮・脳出血や脳梗塞、またそれによる認知症、様々な臓器の障害、アルコール依存症等数多くのデメリットもあります。

お酒の適量というのは中年男性は日本酒で約一合、ビールなら五百ml程度、女性・高齢者はその半分の量だそうです。

知識として理解していても酒席などつい飲み過ぎてしまうという方も多いのではないのでしょうか。

須坂市ゲートボールフェスティバル

公民分館体育部 玉井 一也



去る、5月19日(日)北部グラウンドにおいて、須坂市ゲートボールフェスティバルが開催されました。

当日は、風が強く吹いていましたが、晴天に恵まれ、その空の下熱戦が繰り広げられました。

塩川町からはA・B・Cの3チームが2世代の部(第5、第10ブロック)に参加しました。

【塩川町A】第8ブロックにて、初戦は上八町Bと対戦し13対8で敗れ、2戦目は福島町Aと対戦し10対10の同点でしたが、通過ゲートの内容で惜しくも敗れてしまいました。結果2敗で4位となっていました。

うか。

講座では飲酒量を減らす具体的な方法(ゆつくり飲む、先に料理を食べる、水を飲む等)の紹介もしていただき、最後に深刻なアルコール依存症についてのお話もしていただきました。

ご出席の皆様には、飲める方は勿論、飲めない方もご家族のことを思い浮かべたりしながら、田村さんのお話熱心に耳を傾けていらつしやいました。

「お酒と上手に付き合い合う」ことの大切さを改めて考える良い機会になりました。



【塩川町B】第9ブロックにて初戦は仁礼町Bと対戦し14対9で勝利、2戦目は井上町Bと対戦し、10対8と接戦を制し、2勝で見事優勝となりました。

【塩川町C】第7ブロックにて、初戦は本上町Aと対戦し12対8で勝利、2戦目は上八町Aと対戦し13対11と、これまた接戦で勝利し2勝で見事に優勝となりました。

今大会塩川町は3チーム中、2チームが優勝という、とても良い成績で大会を終えました。

選手の皆様と応援に来て頂いた皆様、本当にお疲れ様でした。



塩川盆踊り・こども大会開催

事業部長 山田 晃 広

八月十四日、恒例の塩川盆踊りこども大会が行われました。昨年は開始一時間前の判断で場所を境内から公会堂内へ変更を行った経験もあり、当日の天候が心配されましたが、今年は風が多少あったものの天候に恵まれて雨の心配もなく境内で開催ができました。七時開始にもかかわらず、町内放送をきっかけに六時半には親子連れの姿がちらほら見え始め、開始時間にはかなりの人が境内に集まって、かき氷には早くも行列ができていました。

今年もポップコーン、スイカにキュウリの浅漬け、かき氷、ビール、ジュースの提供を行いました。どれも大盛況でした。

境内は、いっぱいの人、人、人で、お楽しみコーナーは、長蛇の列。スーパーボールすくい、ボンボン釣り、花火のくじびきに、子供たちの笑顔が溢れていました。

塩川の皆さんが、本当に毎年楽しみにしているお祭りだと実感しました。

花火の抽選が始まる前から、花火を求める列ができてはじめて行列が長すぎるので、少しフライング気味に花火抽選を開始しました。今年は、踊りの曲に、「キュータマ音頭」「銀色の道」を加えました。踊りの輪の中や周りには、子供たちの姿が見受



けられました。また、昨年同様に盆踊りに参加された方に、記念品としてLEDライト付ボールペンを配布させていただきました。皆さん、如何だったでしょうか？

今年も盛大に、盆踊りこども大会が開催でき、大きなトラブルもなく無事に終わることが出来ました。これも、盆踊りこども大会に携わっていただいた区長をはじめ、区役員、花房会、笑顔いっぱい体操の会、保健指導員、長生会、育成会、小中学校PTA支部の皆さん、ご協力いただいたすべての方々、そして何より、ご参加くださった区民の皆様のおかげと、深く感謝しております。

皆様のご協力、本当にありがとうございました。

交通安全講座報告

4月6日(土)午後7時より、公会堂2階大広間にて、開催されました。須坂警察署交通課辻裕一郎係長を講師にお招きし講演していただきました。約40数名の参加者がありました。

機応な行動が必要ということでした。令和に入り多くの交通事故が発生しております。大変悲しいことと思えます。毎日のように使う自動車です。歩行者、運転者お互いに節度をもって行動し、無理無謀な運転、歩行は避けたいものです。

最後に、区民の皆様が毎日が事故の無い安全な毎日である事を祈り申し上げます。安協塩川分会 舟本 晃一

須高地区の交通事故発件数、高齢者が関連する事故件数が多いことを報告され、夜間外出時の服装は明るい服装で、夜光反射材を活用する事、夕暮れ時の運転では、早めのライトを点灯する事など、注意ポイントについて説明頂きました。

また、塩川町内で起きた接触事故の説明があり、曲がり角が接近している場合のウインカーの出し方に話が及びました。交通ルールを守り、相手方に自分の意志を伝えるには、徐行をし、その場の臨



【塩川リレー日記】

はじめまして。55組の有坂敏江さんからバトンを受け取りました71組の田籠絵美子です。「何と読むの?」とよく聞かれます。「たごもり」です。

出身は九州で、主人、娘の3人で8年前に福岡から越してきました。5月の中旬、すでに暑かった福岡を出発し、飛行機の中から見えた雪の残った山々に驚きました。5月なのに肌寒かったのを覚えています。九州では冬に窓が凍って開かないということを開いたこともありません。何年経ってもあの冬の寒さには慣れませぬ。

私が感じる長野は、山が近くて高い、果物と高原野菜がとにかくおいしいことです。初めて食べた須坂産のりんごやシャインマスカット、プルーンにはとても感動しました。そのまま食べるのももちろんですが、私の趣味は『お菓子作り』なので、様々なものに変化させて食べるのも好きです。

いつの日か、私の作ったお菓子でお店が開けたらなあ...とまだまだ夢をあきらめていない自分がここにいます。

71組 田籠絵美子